



あーちの利用はただいま予約制となっています。詳しくは3面の「あーち利用のご案内」をご覧ください。

◆◆◆ ふらっとの利用予約について ◆◆◆

いつもあーちをご利用いただきありがとうございます。

7月より一部のプログラムを再開しましたが、当面は、ほとんどのプログラムを「ふらっと」で行います。通常の利用をご希望の方は、月間予定表でプログラムの有無を確認のうえ、ご予約ください。

夏季休館のお知らせ

あーちは 8月8日(日)から16日(月)まで
お休みさせていただきます。



「ボートやの くまさん」

作・絵: フィービ・ウォーゼント

訳: こみや ゆう

福音館書店 2020年9月発行



せきたんや、パンや、ゆうびんや、うえきやなど、働くくまさんシリーズの続編です。

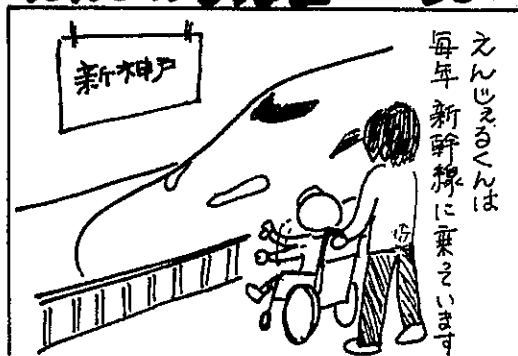
くまさんは、ボートのいえをもっていて、馬のデージーと妹のスージーと一緒にくらしています。ボートやさんって、一体どんなお仕事をしているのかな。

くまさんが、なわでデージーとボートをつなぎ、デージーが歩き出すとボートがあとからついていきます。くまさんはボートで石炭や干し草、時には通りかかった男の子も運びます。

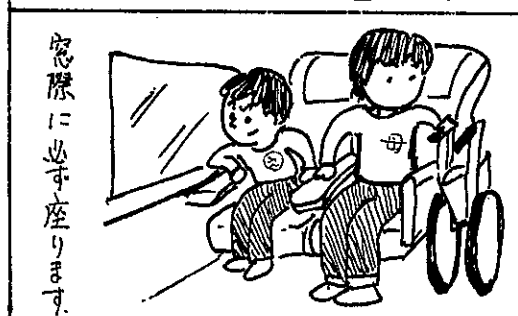
シリーズはいつも、淡々と働くくまさんのお話ですが、ボートやさんでは、くまさんが家族でくつろぐ姿も描かれています。晩ご飯のあと、くまさんが笛を吹き、スージーが歌を歌います。それを見守るデージー。ずっと見ていたいページです。

(あーちスタッフ 永野郁子)

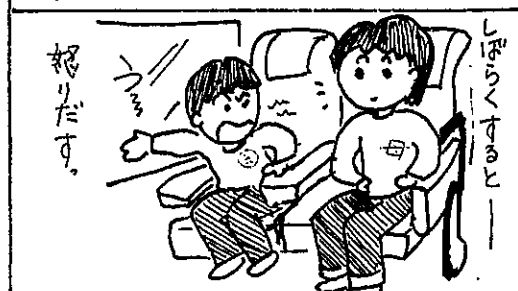
えんじえる君Ⅱ by Bon



えんじえるくんは
毎年 新幹線に乗っています



窓際に必ず座ります。

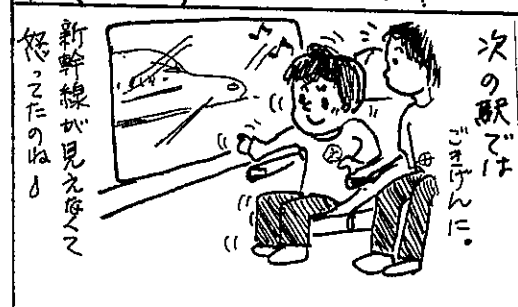


知りだす。

しほくするどー



のどかわいたろ？
おなかすいたの？
トイレ…はさきいふたし！



新幹線が見えなくて
怒ったのね

次の駅では
ごきげんに。



8月予定表



		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	日	休 館	
2	月		
3	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
4	水		
5	木		
6	金	よる・あーち(こども) 17:00~18:50	
7	土		
8	日	夏 季 休 館 (8/8~16)	
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
18	水		
19	木		ベビーマッサージ(予約制) 14:30~15:30
20	金	よる・あーち(青年) 17:00~18:50	
21	土		
22	日	休 館	
23	月		
24	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中
25	水		ベビーマッサージ(予約制) 14:30~15:30
26	木		
27	金	よる・あーち(こども) 17:00~18:50 健康あーち(神大観察園にて活動)	
28	土		
29	日	休 館	
30	月		
31	火		おひさまひろばあーち(予約制) 午前中

<プログラムの参加方法>

- ・ ふらっとで行われるプログラムは予約制です。通常利用の予約フォームからお申し込みください。
 - ・ こらぼで行われるプログラムに参加する場合、予約は必要ありませんが、ふらっとの利用はできません。
ふらっとを利用する場合は、別途、通常利用の予約フォームからお申し込みください。
- ※予約の手順については3面の「利用予約の方法」をご覧ください。

<プログラムのご案内>

おひさまひろば……保育士さんが親子のふれあい遊びや絵本の読み聞かせをしてくださいます。

ベビーマッサージ……予約制です。バスタオル1枚、タオル、着替え、おむつ、赤ちゃんの飲み物をお持ちください。
受付に10分ほどかかりますので、14:15頃までにお越しください。

健 康 あーち……健康づくりをテーマに保護者が中心となり取り組んでいます。農園に出かけたり、クッキングや専門家を囲んでの懇談会なども行っています。

<あーち利用のご案内>

★ 利用予約の方法

- ・予約は1週間ごとに受付けます。毎週金曜日までに予約フォーム(右のQRコード)から翌週分の予約を行ってください。希望者多数の場合は抽選となり、結果は土曜日にメールでお知らせします。(定員は午前・午後ともおおむね10名程度)
- ・利用時間は、午前 10:30~12:30 午後 14:00~16:00 です。
- ・保護者は2名まで利用できます。



★ 当日空きがある場合は、お電話で予約ができます。TEL(078)805-6090

- ・利用当日の10:30以降に、直接あーち受付までお電話ください。(当日分のみ予約可 先着順)

★ ご利用にあたっての留意事項

- ・おとなは必ずマスクをしてください。
- ・来館前にお子さんとご自身の体温を測ってお越しください。受付で体調などを伺う「健康おたずね表」に記入していただきます。
- ・昼食、おやつなどの飲食はできません。(水分補給は可)

※ 関係者の感染が確認された場合、接触者追跡のため市や保健所に個人情報を提供することがあります。

<ふらっと相談員> ~お気軽に声をかけてください~

水曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター(不定期)
午後 助産師
木曜 午前 保健師
土曜 午前 助産師

あーちのルール

- ☆オムツやゴミはお持ち帰りください
- ☆託児はできません
- ルールを守って楽しくすごしましょう!



"I am back to the grind." "アイ アム バック トゥ ザ グラインド"読み方をカタカナにすると、こうなります。grind は「研ぐ」という意味です。直訳すると、I am back to the grind は、「私は、研磨に戻る」ということになりますが、本当の意味は「私は、仕事に戻ります。」という意味です。休暇の後や昼休み後に、仕事に戻るときに使われます。慣用句として覚えられない限り、絶対に分からないですよ。配偶者が、「I am back to the grind.」とフェイスブックに書いていたので、意味を聞いたらそう教えてくれました。確かに、休暇明けのフェイスブックへの投稿でした。"Let's go back to the grind."と、昼休みが終わって「仕事に戻ろう。」という時にも言えます。8月のお盆休み明けに、「I am back to the grind」「仕事に戻っています。」と、SNSにそんな英語のコメントを書いてみてはどうでしょうか。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火~土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

☆ 第8話 ☆

「親子ニコイチ感をてはなそう」

乳児はしっかり肌を離すな 幼児は肌を離せ手を離すな
少年は手を離せ目を離すな 青年は目を離せ心を離すな

アメリカンインディアン子育ての有名な教えですね。とても分かりやすいし、実際、子どもの成長や発達の理にかなっていると思います。しかし、我が家の息子たちは発達スーパーゆっくり君と発達凸凹君の2人。教えの通りにはいきません。母子がへその緒で繋がっていた妊娠の時期を経て、出産後から少しずつ始まる親子のそれぞれの道探し。その歩みはゆっくりで遠回りでもセオリー通りにいかないのが我が家でした。

泣いている赤ちゃんの不快の元を探るのは、大人が赤ちゃんの感覚に寄せていく作業です。騒音がうるさいのかな？眠いのかな？お腹すいているのかな？赤ちゃんの生理現象を予測し、不快感覚を自分の中にインストールする感じ。身体は2つに分かれたのに、まるで1つに戻ろうとしているみたい。

長男は騒音の恐怖に怯えてパニックになると耳を塞ぎながら家から飛び出してしまっていたので、命を守るために私も必死で追いかけていました。この時、私は長男と騒音への恐怖感を共有していました。10歳ころだったのですがまだまだ「手を離すな」を乗り越えられてなかったのですね。なかなか拭えないニコイチ感。

次男の場合、幼児期まで、彼の悲しい気持ちも怒りの気持ちも楽しい気持ちも、全部手に取るように理解できた感覚がありました。思い通りにできなくて嘆き悲しむ次男の不器用さは私自身にもおおいに重なり、抱っこして慰めながら、「わかるよ～、お母さんもそうだったよ～」なんて言いながら次男をよしよししている時に感じたニコイチ感は、頭がクラクラするくらい甘ったるいものでした。

小学生になると間もなく彼は学校に行けなくなってしまいました。登校しようとするやうとすると玄関から動けなくなる次男を見て、「なんで？？私は学校大好きだったのに何がイヤなの？」私が好きだったこと＝次男も好きことという間違った図式が出来上がってしまいました。甘ったるかったニコイチ感がまさか悪く作用しだして、私の苛立ちはすぐに彼に伝わり、彼は自分を責めるようになってしまいました。自分を責める次男の様子を見て、私も自分自身を責めるという悪循環にハマってしまいました。この時、親子は別々の生き物だという感覚がとても大事なことになるのだと学びました。私が楽しいことでも、彼には辛いこと。私にはできる事でも彼にはとても難しいこと、その逆もまたしかり。ニコイチ感を手放さなくては、私は息子をコントロールしてしまう。本来なら彼の意思と希望と好奇心に基づいて道を歩むはずなのに、私の愛情もどきの毒めいたプレッシャーで彼の歩みをゆがめてしまうのでは。息子と私では、親も違うし、性別も違うし、食べてきたモノも違うし、育った場所も違うし、出会った友達や先生も違うし、見てきたテレビも読んできた絵本も違うし、生きてきた長さでは30年分のギャップはあるし、むしろ同じものの方が圧倒的に少ないのでは？と当たり前すぎることに気が付くのです。

私の祖先何千人分と夫の祖先何千人分がもつ何億もの遺伝子が、どんな仕組みでかけ合わさったのかわかりませんが、その結果が、息子たちであるのだから、そりゃあ、もう、別モノです。そんなことが腑に落ちたころ、いい具合に息子たちは思春期を迎えはじめました。

人よりちょっとだけ長い「ニコイチ感」の時期が終わろうとしていて、長男は自信をもって私から離れて行動するようになったし(まだ見守りは必要ですが)、不登校から抜け出した次男はあからさまに私を避けるように距離をとるようになってきました。(あんなにラブラブだったのに…涙)ニコイチ感を手放して、寂しい気持ちもあるけど、私と違うモノを見て、感じて、学んでいる息子たちとの対話は絶対に面白いし、驚きや発見に満ちていること間違いないので、今から楽しみでしかたがないのです。